



男と女が共に歩むための情報誌

Hi,あきしま

vol.34
2012.10



特集

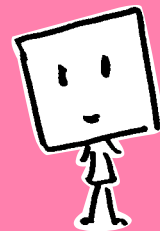
昭島のキラリ☆ウーマン!
職場の極意(清少納言の時代)

- 男女共同参画豆知識
メディア・リテラシー
- 未来のオリンピック選手に訊く!!
～昭島からメダリスト、誕生なるか!?!～

●BOOK GUIDE

『フェミニズムの害毒』
『父子家庭が男を救う』 ほか

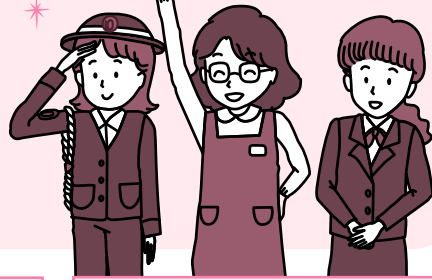
コラム どうなる? 五輪に見る可能性





関 あゆみさん
フォレストイン 昭和館
ブライダル課長

私が昭和館のブライダル課に就職したのは、1998年5月で、まる十四



ラリ☆ウーマン!

とはありません。
の持ち方でもあるような気がします。
楽しむ女性たち!
たちにお話をうかがいました。

年になります。元々人と接することが好きで、同じサービス業でも、販売目標のような「心のサービス」といいますか、見返りを求めないホスピタリティを提供できるようなサービスを求めています。

ホテルというものは、異空間なのだと思います。少しお洒落して出かけた靴を履いて出かけるなど、日常的ではないこの空間そのものが好きなのです。

ブライダル業は、今やブライダルコーディネーターやブライダルプランナー等を目指す人も多く、女性スタッフの多い、女性には働きやすい職場です。結婚式というところ新婦がメインなので、同性ということで、いろいろな気持ちに共感できるからです。



いますので、女性にとってはもってこいといえますか、自分の力を発揮できる職業だと思っています。

今は結婚式をとりおこなわない方たちも多くなりましたが、結婚式は「感謝を感じられる日」であり、「今までにあまり感じていなかった思いに気づかされる日」でもあります。初めは乗り気でなかった方々も、ほぼ百パーセント近く「やってよかった」とおっしゃいます。

私も、結婚式が終わっても遊びにきて下さった「担当してもらってよかった」「記念の場所になった」などの感動のお手紙をいただいたりしたとき、とてもやりがいや達成感を感じます。

また、仕事が充実しているからこそ、プライベートも有意義に過ごせるように思います。休日は休息もとりますが、趣味のバイクやバレエストレッチをしたり、まとも



若林 とき子さん
光明工業を夫婦で経営、
昭島市商工会女性部常任委員
として活躍

私が今の仕事をするようになったのは、

覚えて、仕事が出来ようになりました。昔通信教育でミシンを習っていたことも幸いでした。

バブル崩壊後は、仕事が減って心配な時もありましたが、この仕事を辞めたいと思った事は一度もありませんでした。仕事が減った時は、近所にピラを配って宣伝活動をして、いろいろと仕事を盛り立てる為の努力をしました。仕事をあきらめて辞めてしまうのは嫌でしたし、この仕事を何とかやっていこうと真剣でした。また、人との繋がりが好きで、故郷の県人会や、子ども

った長い休みには夫とツーリングに行くなどしたりして、公私共に充実しています。

私は昔から結婚しても働き続けたい、社会と関わりを持ちたいと思っていました。過去にはアルバイトやパート勤務のような経験もありますが、雇用形態は問わず、働くことが大切だと思っていますし、やはり自分にとって思う存分働ける職場が理想です。

働く限りは第一線で働きたい。人に遠慮しながら働くというよりは、自分の意見も言えて働ける方がずっといいと思います。

女性も結婚して子どもが生まれるからといって仕事を辞めずに長く勤め、たいへんかもしれないが子育てしながらでもまた復帰して、働く喜びを感じて欲しいです。

働いて得る達成感や充実感、逆に失敗してしまう挫折感も、全て人生の大きな糧になると思うのです。今の若い女性たちにも、ぜひ何かしら仕事を続けていって欲しいと心から思います。

見つけた時などは、本当に嬉しいものです。

自営業なので、仕事とプライベートとの時間を特に分けてはいません。プライベートが無いと言えそうですが、大変だと思っただけでもありませんでした。夫婦で同じ仕事をしているので、いつも夫と一緒にいるのが当たり前です。二人で協力し合っていて、仲良く仕事をして、休みの日も夫婦で出掛けたりします。最近では、近所に住む孫達と一緒に出掛けるのが、楽しみの一つです。

特集 昭島のキ

楽しく、生きがいを持って仕事ができたら、こんな素敵な「仕事は大変で、つまらないもの…」でも、それって気持ち仕事の中に楽しみを見つけて、生き生きと仕事と生活をそんな、キラリと輝きながら仕事をされている、昭島の女性



島津 くみさん
昭島警察署 強行犯捜査係長

私が警察官を職業に選んだのは、公務員は安定しているということもありますが、人の役に立つ仕事があったということが一番の理由です。

警察官の採用試験に合格し、府中にある警察学校で法律や術科と呼ばれる

結婚した夫の家が自営業を営んでいましたので、私も夫と一緒に仕事をやりたいと思っただけで、それがきっかけでした。

うちの仕事は特殊な仕事で、多種椅子・飛行機のスチューパー専用椅子等、ちよつと変わった形をしている、特

殊加工が必要な椅子の内張りをしています。椅子の内張り仕事は、力仕事もありますが、腕力がないと二苦労ですが、私は手先を使う細かいミシン作業が得意だったので、仕事で使う工業用ミシンの使い方を自分で



が小学生だった頃のクラス役員のお母さん達とは、十五年以上経った今でもみんなが集まっています。そういった人との繋がりが、自分の力に繋がっているのだと思います。

仕事がある意味で特殊ですので、下町では辞めてしまう方が多いようです。自営業と同じ職業の方は数少ないですし、大変な事もあります。椅子が出来上がった時の喜びや、飛行機の中で自分の作った椅子を

柔道・剣道・合気道などの授業を受けました。術科は警察官である限り必須項目で、必ず一つ選択しなければなりません。私は、その中から合気道を選びました。関節技と相手の力を利用して戦うという合気道の特性が力の無い私に合い、気に入ったからです。

現在、刑事課に在職する警部補として働いています。

係長として、日夜仕事に追われていますが、仕事の中で性的被害にあった女性の話を聞くことが多数あります。性的被害はとてもデリケートな難しい問題ですから、他人には話にくいものです。私が女性であることから、女性同士、話をしてもらえることがあります。

警察官になった平成十五年頃は、女性はまだ交通課からスタートするのが一般的で



くせになが分かる！」と腹立ち紛れに言われたときもありました。しかし、そういう罵詈雑言をあげせられても、ひたすら納得させるためには、話をしていくしかないと思っています。

警察官は朝昼晩がないように忙しいイメージですが、何時もいつも事件があつて忙しいわけはありません。時々ですが、五時十五分過ぎに、署を出ることがあります。そういう時には、家では何もせず、ボーっとして過ごしながら、好きな東野圭吾さん

した。現在は、男女とも「地域課」という交番勤務からスタートするようになりました。『男女共同参画』という点では象徴的な出来事ですね。同僚から男女差別的言葉を聞いたりはしません。交通違反をした一般男性に「女の

の推理小説などを読んでいます。しかし、六日に一度は泊まりがあるので、その時はほとんど仮眠してられないほど、なかなかやと事件や事故が起こるため、緊張の連続です。

仕事が進まなかったり、自分の思う方向に行かないときなど、正直言って、やめたなと思うこともありましたが、仕事をしていると、被害者の女性から「話してよかった」と感謝されるときがあります。「刑事を続けてよかった」と思う一瞬です。

これからの人に伝えたいことは、仕事は楽しいことばかりではありません。つらいこと、大変なことの方が多くあります。しかし、あきらめたりしないで、励みになるところを仕事の中に見つけて、目標にまっしぐらに進んでほしいと思います。大変だとは思いますが、仕事は家庭を持った後でもずっと続けていきたいと思っています。

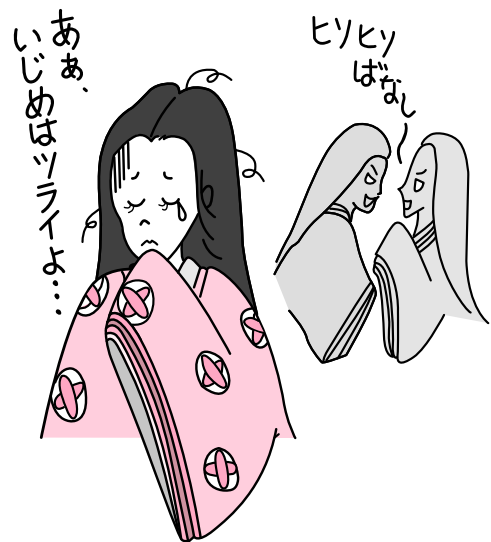
今も千年前もキャリアウーマンは人間関係に悩んでいました。

働くことって本当に大変！ 時には気にしない・気にしないの鈍感力も必要です。

清少納言は中宮定子に仕えたので、その職場は内裏だった。内裏は帝とその后達の住まいだが、それを取り囲んで役所があった。内裏を含めてすべて

平安時代は女房達が盛んに執筆活動をして「女の時代」といわれるが、一つの世も仕事となるとそうそう甘いものではない。女房というのは、貴人に仕えて、その人の話し相手をしたり、来客の応対をしたりするのがおもな仕事だった。わたし達が考えるよりずっと気骨が折れる仕事だったようだ。女房は高貴な貴族の家ではみな雇っていたが、宮廷に娘を后として出している家では、その娘に、権力と資産に応じて女房を雇った。このとき選ばれる女房は、中流貴族以上の家柄の娘であること、和歌が多少なりとも詠めること。この二つの条件には最低かなわなくてはならなかった。

清少納言は中宮定子に仕えたので、その職場は内裏だった。内裏は帝とその后達の住まいだが、それを取り囲んで役所があった。内裏を含めてすべて



を大内裏という。その大きさはちょうど昭和記念公園に匹敵する。そこに一万人も人が勤めていた。女達も当然たくさん働いていた。その女たちの職業の中で女房はエリートだ。何しろ殿上が上がって、そこに寝起きしているのだから他の職業の女達とは一線を画する。

清少納言が仕えた中宮定子は最盛期には五十人も女房を抱えていた。五十人も女ばかりがいるとなかなか大変だ。職場の人間関係での悩みはつきなかつたらしい。よく聞く職場の人間関係の難しさは古今を問わず同じだ。出仕してきた初めのころはつやつやとした髪が、一・二年も経たないうちに抜け落ちた若い女房もいたそうだ。清少納言は宮廷生活を謳歌した人だから、それほどストレスもつらさもなかったかもしれない。謳歌するためには身に着けていなければならぬ極意があった。それは「悪口を言うのも、言われるのもお互い様。言われたからといってなんで怒るの？ワツハツハと笑ってやりすごすよ」

清少納言が仕えた中宮定子は最盛期には五十人も女房を抱えていた。五十人も女ばかりがいるとなかなか大変だ。職場の人間関係での悩みはつきなかつたらしい。よく聞く職場の人間関係の難しさは古今を問わず同じだ。出仕してきた初めのころはつやつやとした髪が、一・二年も経たないうちに抜け落ちた若い女房もいたそうだ。清少納言は宮廷生活を謳歌した人だから、それほどストレスもつらさもなかったかもしれない。謳歌するためには身に着けていなければならぬ極意があった。それは「悪口を言うのも、言われるのもお互い様。言われたからといってなんで怒るの？ワツハツハと笑ってやりすごすよ」

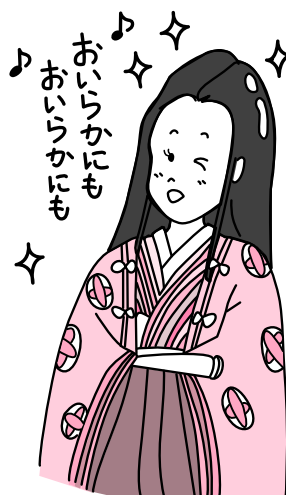
清少納言が仕えた中宮定子は最盛期には五十人も女房を抱えていた。五十人も女ばかりがいるとなかなか大変だ。職場の人間関係での悩みはつきなかつたらしい。よく聞く職場の人間関係の難しさは古今を問わず同じだ。出仕してきた初めのころはつやつやとした髪が、一・二年も経たないうちに抜け落ちた若い女房もいたそうだ。清少納言は宮廷生活を謳歌した人だから、それほどストレスもつらさもなかったかもしれない。謳歌するためには身に着けていなければならぬ極意があった。それは「悪口を言うのも、言われるのもお互い様。言われたからといってなんで怒るの？ワツハツハと笑ってやりすごすよ」

清少納言が仕えた中宮定子は最盛期には五十人も女房を抱えていた。五十人も女ばかりがいるとなかなか大変だ。職場の人間関係での悩みはつきなかつたらしい。よく聞く職場の人間関係の難しさは古今を問わず同じだ。出仕してきた初めのころはつやつやとした髪が、一・二年も経たないうちに抜け落ちた若い女房もいたそうだ。清少納言は宮廷生活を謳歌した人だから、それほどストレスもつらさもなかったかもしれない。謳歌するためには身に着けていなければならぬ極意があった。それは「悪口を言うのも、言われるのもお互い様。言われたからといってなんで怒るの？ワツハツハと笑ってやりすごすよ」

清少納言が仕えた中宮定子は最盛期には五十人も女房を抱えていた。五十人も女ばかりがいるとなかなか大変だ。職場の人間関係での悩みはつきなかつたらしい。よく聞く職場の人間関係の難しさは古今を問わず同じだ。出仕してきた初めのころはつやつやとした髪が、一・二年も経たないうちに抜け落ちた若い女房もいたそうだ。清少納言は宮廷生活を謳歌した人だから、それほどストレスもつらさもなかったかもしれない。謳歌するためには身に着けていなければならぬ極意があった。それは「悪口を言うのも、言われるのもお互い様。言われたからといってなんで怒るの？ワツハツハと笑ってやりすごすよ」

清少納言が仕えた中宮定子は最盛期には五十人も女房を抱えていた。五十人も女ばかりがいるとなかなか大変だ。職場の人間関係での悩みはつきなかつたらしい。よく聞く職場の人間関係の難しさは古今を問わず同じだ。出仕してきた初めのころはつやつやとした髪が、一・二年も経たないうちに抜け落ちた若い女房もいたそうだ。清少納言は宮廷生活を謳歌した人だから、それほどストレスもつらさもなかったかもしれない。謳歌するためには身に着けていなければならぬ極意があった。それは「悪口を言うのも、言われるのもお互い様。言われたからといってなんで怒るの？ワツハツハと笑ってやりすごすよ」

いじめをした。五十人も女房がいると中にはいやなことをする人もいる。清少納言はついにたまりかねて、自分の里に戻ってしまった。それからしばらくして、「もう一度中宮のもとにお戻りになりませんか」という誘いの使いがやってくる。中宮定子のわびしい住まいとわずか十数人になった女房達の話聞き、心が動くが、自分が受けた仕打ちを思わず使いの者に話してしまう。「わたしは何も思っていないのに、あの人たちがわたしのことを嫌いみたいですから」使いの者は「おいらかにも(まあ、まあ落ち着いて、落ち着いて)」と言って微笑んだ。清少納言はそれで再び出仕するようになるのだが、昔も今も職場の人間関係のわずらわしさは同じことのようなのだ。そんなとき、清少納言を思い出そう。「悪口はお互い様。なんで怒るの？」それでも落ち込んだときは「おいらかにもおいらかにも」と呪文を唱えてみるとすっきりするかもしれない。



悪口なんてお互い様よ!

Hi, あきこちゃんの男女共同参画マメ知識



Takako

ねえ!
メディア・リテラシーって
知ってる?



う〜ん、
リテラシーは最近よく聞くけど、
メディア・リテラシーって
いったい何のこと?

メディア・リテラシー

新聞・テレビ・インターネット・出版物などの情報メディアを主体的に読み解いて、
必要な情報を引き出し、その真偽を見抜き、活用する能力のこと。
情報を評価・識別する能力。

例えば、
男女平等からみて、
メディア・リテラシー
の不安は…



歌謡曲では…



雑誌では…



なんだか
情報によっては、考え方を
操作されちゃうことも
ありそうで心配になってきたな…

新聞では…



テレビでは…



そうなのよ、
メディアから流れてくる
情報を全てうのみに
すると、ちょっと大変な
ことになりそうなの



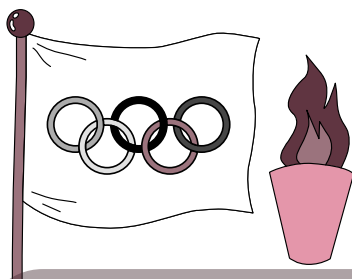
だから、流れてくる情報は、そのまま受け取るだけではなく、
自分で正しいか、間違っているかを判断して、
情報を選んで、使いこなしていく力が必要になってくるのよ!



昭島市では男女平等の視点に立ったメディア・リテラシーの普及に努めます。



様々な情報を見極める目
を持つためにも、ほくたちが賢くなって
子どもたちを間違った情報から
守っていきたいね!!



未来のオリンピック選手に訊く!!

～昭島からメダリスト、誕生なるか!?!～

質問項目

- 1) 名前(学年)
- 2) 始めたのはいつから?
- 3) 戦績を教えてください
- 4) ロンドン五輪を振り返って思うこと
- 5) 好きな食べ物
- 6) 好きな言葉
- 7) 憧れの選手、有名人
- 8) 将来の夢、目標
- 9) 昭島の好きなところ、またみんなに言いたいこと
- 10) ずばりあなたにとってサッカー/テニスとは?
- 11) ご両親/担当コーチから一言!

この夏は暑かったけれども、なんといつてもロンドン・オリンピックが熱かった。一生懸命戦った選手たちの姿に、多くの方が勇気や感動をもらったのではないのでしょうか。

メダル獲得数は、史上最多の38個。なかでも、レスリング、サッカー、柔道、卓球、バトミントン、重量挙げ等、日本女子の活躍に大いに盛り上がりを見せました。

そこで、昭島市内の気になる未来のオリンピック選手2名を、ご紹介します。

堂々の銀メダルを獲得したサッカーなでしこジャパンと、日本テニス史上初のベスト8という快挙を成し遂げた錦織選手にちなんで、女子高生のサッカー選手杉原遥波さんと、男子中学生のテニス選手安藤誠淑さんです。将来世界で活躍することを夢みて日々がんばっている、若きお2人に直接質問をさせていただきました。



安藤さん

- あんどう まさとし
- 1) 安藤 誠 淑(中学1年)
 - 2) 5歳。
 - 3) 2012東京中学テニスダブルスベスト16。
 - 4) テニスの錦織選手は日本人の中でも背丈が大きいのに、上背がある外国人選手と対等に戦っていたので、自分にもできると思った。北島選手が4位でも、「諒がメダルを取ってくれた。悔いはない」と言ったことが後輩思いで素晴らしいと思った。将来は自分も国を代表して戦う重みを感じてオリンピックに出場してみたいです。
 - 5) ラーメン、果物全般(特にメロン)、すし、焼き肉。
 - 6) 努力はウソをつかない。
 - 7) アンディー・マレー選手、川越シェフ。
 - 8) プロテニスプレーヤー(テニスが上手なだけでなく、プレーでみんなに感動を与えられる選手)。
 - 9) 水がおいしい。昭島最高!
 - 10) 青春。生きがい。欠かせないもの。
 - 11) 普段はみんなの場を和ませるお調子者?でもテニスに対しては真剣そのもの。朝早くから夜遅くまで彼ほど努力している生徒はいません。このまま努力を続けて昭島、いや日本を代表する選手に羽ばたいて欲しいと思います。(昭和の森テニススクール 岡川正樹チーフコーチ)

2012ロンドンオリンピック 日本の獲得メダル数 (国別ランキング6位!!)

金	7	●●●●●●●
銀	14	●●●●●●●●●●
銅	17	●●●●●●●●●●●●

- すぎはら はるな
- 1) 杉原 遥 波(高校1年)
 - 2) 小学4年生。
 - 3) U15全日本女子エースサッカー選手権大会優勝、USAウィークエンドトーナメント優勝他。
 - 4) 最後まであきらめないという気持ちが大切だ!ととても感じました。私もその気持ちを忘れずに頑張りたいです。
 - 5) ハンバーグ。
 - 6) ありがとう。
 - 7) 長谷部誠選手、メッシ選手。
 - 8) 将来オリンピックに出て金メダルを取ること。高校でレギュラーでいられるようにしたい。
 - 9) 穏やかなところ。
サッカー選手になれるよう頑張るので応援よろしくお願いします。
 - 10) 私のすべて。
 - 11) 健康でケガもなく、元気で過ごしてもらおうのが親にとって一番の喜びです。その中で本人が夢に向かって全力で頑張っていくことをサポートしたいと思います(母)。



杉原さん

8月に行われたロンドン五輪。史上最多のメダルを獲得した日本選手団の活躍に、胸を熱くした方々も多かったのではないだろうか。

日本が獲得した金メダル7個のうち、4個が女子選手。メダリストの延べ人数も女性が大半を占めた。メダリストたちの凱旋パレードには50万人規模の人々が祝福にかけつけ、観衆には女性の姿が多く見られた。昨今の「女子力」の勢いを見るようである。

中でも、一際大きい歓声を集めたのが女子サッカーの「なでしこジャパン」。ロンドン行きの便ではエコノミークラスしか手配されず、男子のビジネスクラスとの「格差」が問題となった。それを見返すような活躍で銀メダルを獲得し、帰国便は“ようやく”ビジネスクラスに昇格された。

こういうケースは、日本社会で女性の置かれている状況に多く見られるのではないだろうか。実績も能力も申し分ないのに、なかなか認められない。昇給や管理職への登用など男性に比べて報われにくい例は数多い。

一方、「なでしこジャパン」を破って金メダルを獲得した米国では、女性の社会進出が比較的進んでいる。その米国のキャリアウーマンの中で最近、ある論文が話題になっているという。

そのタイトルは、「なぜ、女はいまだに全てを手に入れられないのか」。米政府高官で外交政策を担当していたアン・マリー・スローター女史が記した。現在は大学教授へ転進し、同じ大学の教授である夫との間に2人の息子をもち、経済的に恵まれた家庭も築いている。傍から見ると、仕事と家庭を両立させ、成功した女性に見える。そんな彼女が論文の中で辛らつに現代社会の問題点を指摘している。

まず、政府高官の職を辞めたことについて、「長時間にわたる激務の日々で、子育てとの両立が困難になったから」

と理由を述べ、現在の米国社会や経済の構造では「仕事と家庭の両立は不可能」と断じている。

アメリカでは1960年代以降、フェミニズム運動や公民権運動が盛んになり、女性の社会進出が進んだ。その一方で、男性との厳しい競争の中、「家庭も大切にしたい」という気持ちを出しにくい空気が醸成されてきたという。

論文ではさらに、長時間勤務を見直し、柔軟な働き方を認める社会が提唱されている。政府高官の職を辞め、家族との生活を選んだスローター女史の言動は、フェミニズムやワークライフ・バランスなどの議論に一石を投じている。

ところで、このようなスローター女史の指摘は、女性にだけ当てはまるとは限らない。男女を問わず、必死で働いているうちに、いつの間にか時間だけが過ぎていっていると感じている人も多いのではないかと。そして、ふと、「仕事だけではハッピーになれない」と感じる瞬間が来る。

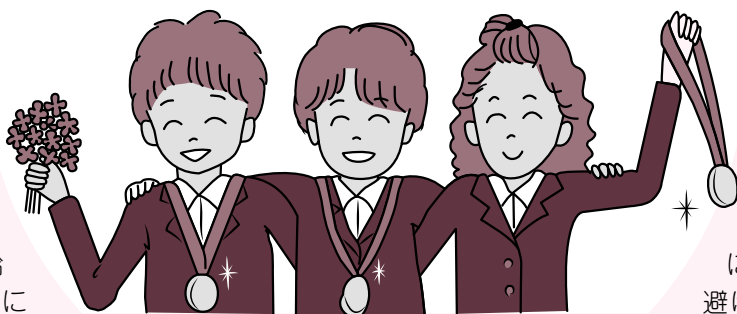
そもそも、何かを得るためには何かを犠牲にすることは避けて通れない。例えば、経済的な成功や出世などの名声を得よう

として他者との競争に明け暮れると、家庭を顧みる余裕はなくなっていく。このような状況が続くことで、社会には閉塞感や疲弊感が蔓延していくのではないかと。

さて、ロンドン五輪での日本はサッカー、バレーボール、卓球、アーチェリー、フェンシング、体操、水泳など団体戦での活躍が目立った。チームワークにより力を発揮するのは、日本人の得意とするところだろう。まさに、これこそが社会に蔓延する閉塞感や疲弊感を打破する力になるはずである。個々の力ではなく、日本人が得意とするチームワークを生かし、家族や地域がまとまって絆を強くすることで、メダリストたちのような笑顔あふれる社会を形成していきたいものである。その可能性を感じさせる五輪の夏であった。

T.H.

コラム どうなる？ 五輪に見る可能性



11月12日～25日は 女性に対する暴力をなくす運動週間です

DV(ドメスティック・バイオレンス)や性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為などの女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものです。

国では、11月12日から25日(女性に対する暴力撤廃国際日)までを、女性に対する暴力をなくす運動期間と定めています。この機会に、女性に対する暴力について考え、暴力のない社会づくりを進めましょう。



男女共同参画セミナー

「DVのメカニズムと子どもへの影響」

講師：松本 和子さん

NPO法人女性ネットSaya-Saya代表

日時：平成24年11月16日(金)

午後1時30分～3時30分

場所：昭島市保健福祉センター(あいぽっく)視聴覚室

定員：30名(申込順)

保育あり(2歳以上の未就学児5人、申込順)

申込：企画部企画政策室 TEL 042-544-5111(内線2373)

10月17日(水)より電話で受付しています。



BOOK GUIDE

今年度購入した本は、男女共同参画ルーム「おあしす」にあります。
問合せ先 企画政策室 042-544-5111 内線 2373

フェミニズムの実態を徹底的に暴く!

フェミニズムの害毒 林道義

『フェミニズムの害毒』

林 道義 著
草思社 1999年8月

このままでは
家庭も親子関係
も破壊される!
なぜ「フェミニスト」
ほど、フェミニズムを
推進し、女性自身を
害する者か? 101頁
1冊である。

フェミニズムの屁理屈は、
実際には多くの女性を苦
境に陥れているという。
フェミニストは、なぜ専業
主婦を目の敵にするのか、
なぜ「働け」イデオロギーへ
と邁進するのか。本書は、
母性の否定、家族の否定
など、フェミニズムについて
徹底的に暴き出している。
そして、フェミニズムが本当
に求めなければならないも
のとは、女性自身のために
考える理
論へと再生
するために
は、真の男
女平等へと
導いていく

現状分析による変革の道を探る女性学!

新・女性学への招待

『新・女性学への招待』

井上輝子 著
有斐閣 2011年5月

変わる/変わらない
女の一生
井上輝子 著
初版から20年
女性の人生の何が変わり、
何が変わっていないのか
をこの20年間の経験と知識を
基に、女性自身のために
語られている。101頁
1冊である。

本書は女性がわか
れているライフス
テージ(家庭、学校、
職場など)の各段階
で直面する問題や葛
藤を具体的に描き、
生活や意識の動向を
分析することで、そ
の解決の道を語って
いる。初版の20年前と
何が変わり、変わら
ないのか、問題提起
の書でもある。女性
学のパイ
オニアが
語る女の
一生。

いま、学校という空間で何が起きているのか!

『学力』よりも、視野、価値
というものの差が起きている。
学校の「空気」
若者の気分
学校の「空気」
本田由紀 著
「学力」よりも、視野、価値
というものの差が起きている。
自分や子どもが「普通」であることの実現?
友だち関係、先生との関係のリアルとは?
101頁
1冊である。

『学校の「空気」』

本田由紀 著
岩波書店 2011年2月

詳細に読み解
き、分析してい
る。子ども・若
者の「今」を掘い
とったリアルな
「気分」の書。

本書は学校という社会には
濃密で特有の「空気」が存在し、
それが子ども・若者に及ぼす
作用を中学生調査データに基
づき探っている。彼らがどのよ
うな環境で過ごし、何を考え
ているのか。そしてそれは、学
力、生きる力、性別などの要
因といかなる相関関係にあるの
か。「学力」差異の刻印、友だ
ち―教室という劇場/場、教
師―親密性の濃淡、将来―野
心の偏在、夢の脅迫」という4
つのテーマに分け
て、

新時代の男たちの生き方!

父子家庭が男を救う

『父子家庭が男を救う』

重川治樹 著
論創社 2012年5月

重川治樹
父子家庭
「男もしあわせに」を目指す
男たちへの生き方の手本書
である。「父子
家庭の実態
と男の哀し
み」「どうし
て男はいつも
被告席か」
など6章。

著者は新聞記者の時、離
婚に直面し二児を育てたが、
その経験から全ての男性が
「父子家庭」を体験せよと語
る。そして「父子家庭」にな
って初めて人生、生活の質、レ
ベル維持をいかに女性に頼つ
ていたのか驚愕的な「発見」を
したという。本書は「父子家
庭は男性問題学習のための
生きた教材の宝庫」であり、
「男もしあわせに」を目指す
男たちへの生き方の手本書で
ある。「父子
家庭の実態
と男の哀し
み」「どうし
て男はいつも
被告席か」
など6章。

娘時代の父親との距離間!

娘の結婚運は父親で決まる
岩月謙司 著
WAVE出版 2012年3月
大人になってから
こんなにも
影響を発する
父親の問題を提起した
衝撃的名著!

『娘の結婚運は父親で決まる』

岩月謙司 著
WAVE出版 2012年3月

を詳細に述べて
いる。恋愛が不
得意な女性た
ちの謎を娘時
代の父親との関
係で解き明か
した衝撃の書。

大学院で動物行動生理学・
人間行動学を専攻した著者の
数千人におよぶ調査研究による
と、「良くも悪くも娘は父親と
似た人と結婚する」そうであ
る。1章は「愛が長続きしない
女性たち」と題し、父親の影
によるギャップのメカニズムを、
2章の恋愛編では家庭内ストッ
クホルムシンドロームが発生して
いる互いに惹かれあうメカニズ
ムを解説。3章はその影響力を、
4章ではその具体的な解決策

その他、今年度購入した本

- ◆『<オンナ・コドモ>のジャーナリズム』 林 香里著 岩波書店 2011年1月
- ◆『タイム・バインド 働く母親のワークライフバランス』 アーリー・ラッセル・ホックシールド著 坂口緑ほか訳 明石書店 2012年3月
- ◆『年を重ねるのが楽しくなる! [スマート・エイジング] という生き方』 川島隆太、村田裕之著 扶桑社 2012年6月
- ◆『男女共同参画統計データブック:日本の女性と男性2012』 国立女性教育会館、伊藤陽一編集 ぎょうせい 2012年3月
- ◆『家族という意志』 芹沢俊介著 岩波書店 2012年4月
- ◆『結婚できない症候群』 芥川桃州著 東京図書出版 2012年2月
- ◆『女性のためのライフプランニング』 田和真希著 大学教育出版 2012年4月
- ◆『女性のからだところどころ―自分らしく生きるための絆をもとめて』 内田伸子 編著 金子書房 2012年4月
- ◆『働く君に贈る25の言葉』 佐々木常夫著 WAVE出版 2010年11月

INFORMATION

男女共同参画都市宣言10周年「みのもんたの朝ズパッ!」でおなじみの杉尾 秀哉氏 講演会のお知らせ

昭島市では平成15年1月に、男女がいきいきと暮らせる昭島をめざし、市民とともに男女共同参画社会を実現していこうと「男女共同参画都市」を宣言しました。

10周年の節目にあたる、来年1月にTBS「みのもんたの朝ズパッ!」でおなじみの杉尾秀哉さんをお招きし、講演会を予定しています。

日時 平成 25年 1月 20日 (日) 1時 30分 ~ (予定)
場所 昭島市役所 市民ホール

※詳しくは、企画部企画政策室 (内線 2373) までお問い合わせください。